

## 私たちの「匠」生産物語

栃木県立那須拓陽高等学校

### 発表概要

畜産専攻生和牛班は、令和4年度、この2つの目標を決めました。一つ目は良質な牛肉の生産、2つ目は那須拓陽高校の和牛の認知度向上です。

良質な牛肉の生産については昨年度から継続しているA5率100%を達成、しかし今年度より肥育用飼料の変更があり不安が募る年度初めでした。これまでは何事もなく順調にきていますが、今後も注意深く見ていきたいです。また飼料自給率の向上に向けて県内6校の農業高校と共同でクラフトパルプの給餌試験を行っています。来年度の和牛甲子園に試験牛を出品する予定なので、試験結果や肉質に注目して今後も取り組みたいです。

那須拓陽高校の和牛の認知度向上では、販売店でのアンケートから、いままでの販売方法では那須拓陽高校の和牛のお肉だと認知されにくい状況でした。そこで、商標を活用したお肉のパックに貼るシールを作成しました。そのほかに、学校HPや掲示板を活用し、農場を宣伝しており、認知度向上に努めています。